

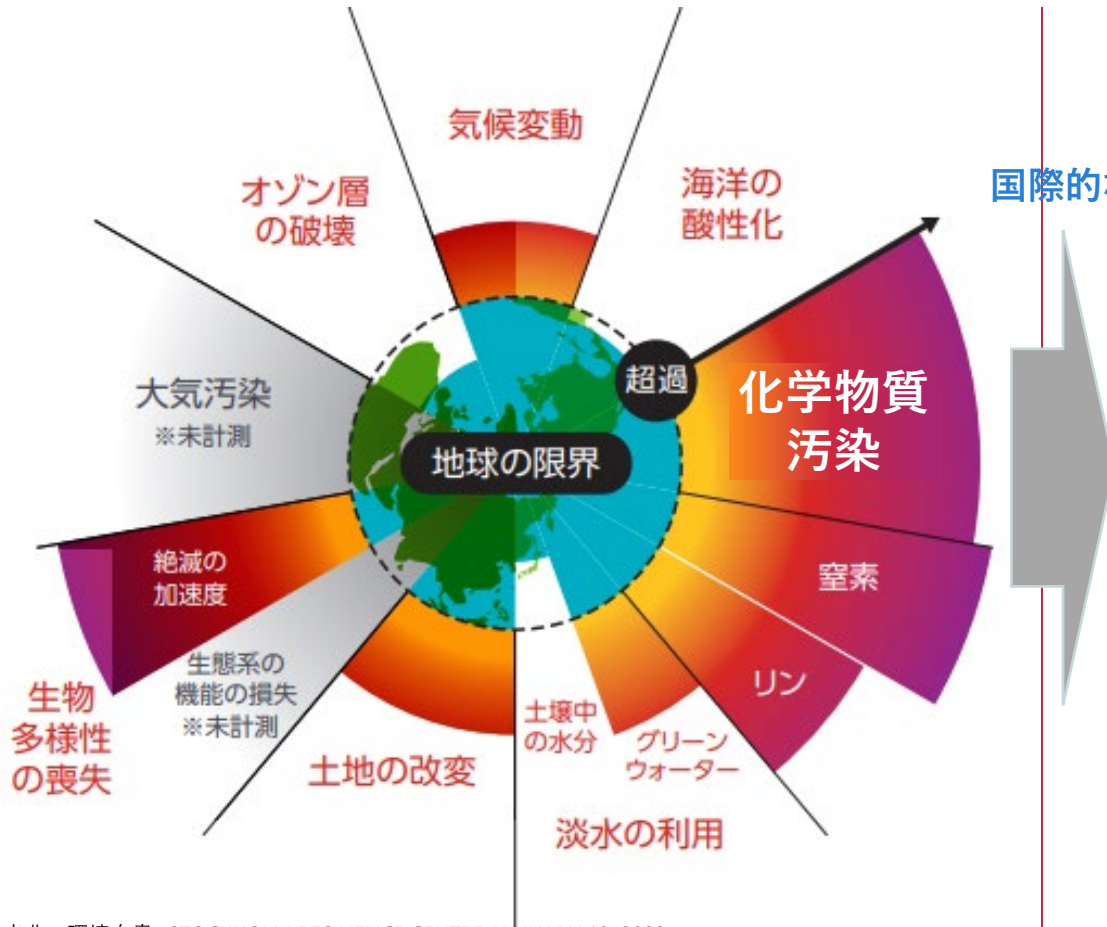


持続可能な社会に向けた花王GFC*推進活動 「責任ある化学物質管理」

花王株式会社 GFC推進委員会事務局
(日本石鹼洗剤工業会) 長谷恵美子

2026.7.29

*Global Framework on Chemicals



国際的な合意

気候変動

パリ協定



生物多様性損失

生物多様性枠組み



化学物質と汚染

Global Framework on Chemicals

- 2023合意
- 2024国内実施計画
- 2026運用ルール



Triple Planetary Crisis

社会・環境課題解決のための化学物質管理に大きな期待(GFC)

GFC(化学物質に関するグローバル枠組み)戦略目的と産業界の取組Kao

戦略目的A

For 化学物質と廃棄物の適正管理
法的枠組み・組織的メカニズム・能力を整備・実装

戦略目的B

For 意思決定とアクション
包括的で十分な知識・データ・情報が
生成・公開されアクセス可能になる

戦略目的C

For 懸念課題の対処
特定・優先付け・行動

戦略目的D

For ベネフィット最大化、リスクの防止・最小化
製品バリューチェーンで安全な代替と
革新的で持続可能な解決策を実装

戦略目的E

For 実効性向上
リソースの流動化・パートナーシップ・協力・キャパビル増強
および意思決定プロセスへの統合

生活者・顧客

サプライヤー

行政・自治体

業界団体・同業

アカデミア

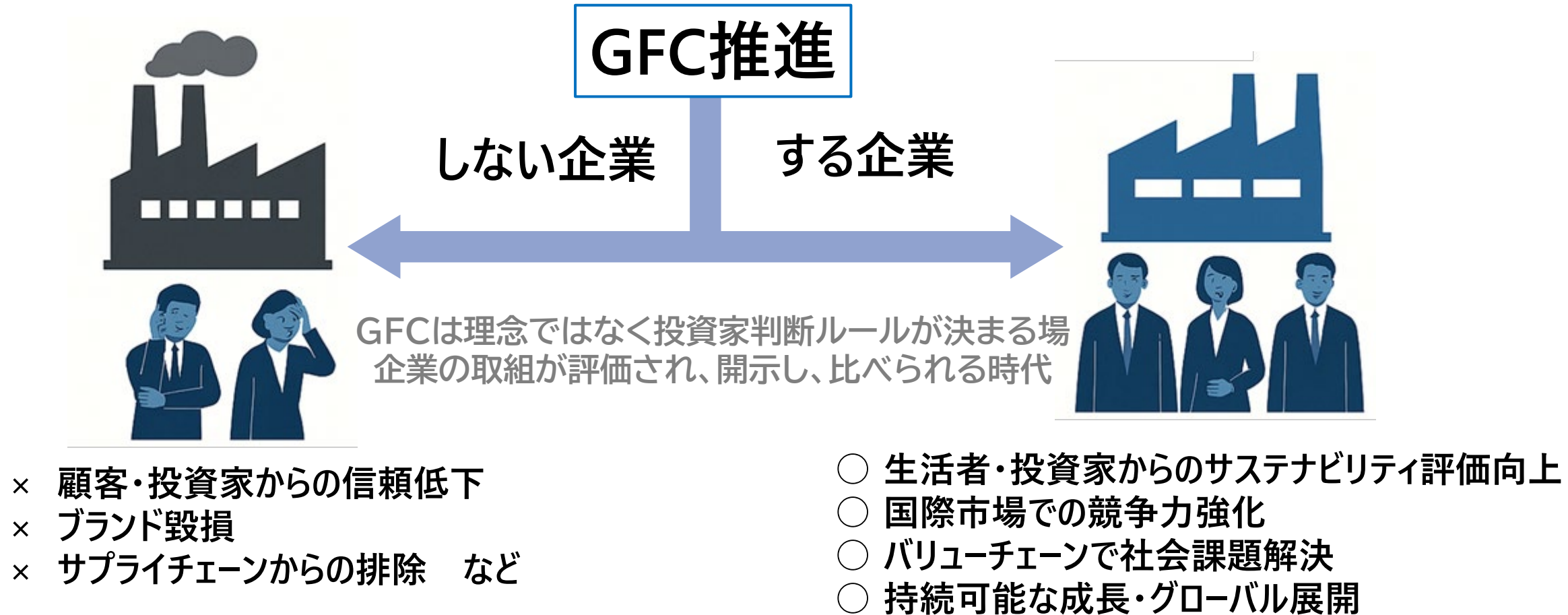
NGO・NPO

地域社会

株主・投資家

マルチステークホルダー連携を通じて目標達成へ取り組む

GFC: Global Framework on Chemicals



GFCは理念に留まらず、投資家による企業価値評価につながる時代へ

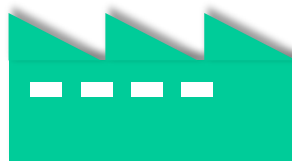
花王の「よきモノづくり」

原材料

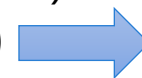
油脂原料 など



製造



化学反応 (ケミカル製品)
配合 (洗剤、化粧品)
組み立て (紙おむつ)



製品

ケミカル製品



洗剤 など



化粧品 など



紙おむつ など



- 幅広い事業分野：ケミカル製品からコンシューマー製品まで多様な製品
(28,000種以上)
- 35,000以上の原料から、多様なプロセス（化学反応、配合、組み立て）で製造
- ケミカル製品だけでなく医薬部外品、化粧品、食品などカテゴリーごとの製品規制や、工場が立地する場所ごとの環境規制への対応

「化学物質管理」は、花王のモノづくりの根幹を担う

花王の経営戦略に組み込まれた化学物質管理

KaO

2009年6月
環境宣言

2020年中期目標

CO₂： 消費者向け製品 35%削減(国内)
(全ライフサイクルベース、売上高原単位、2005年基準)

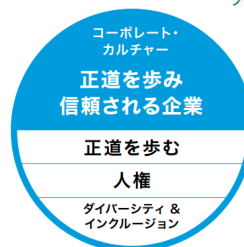
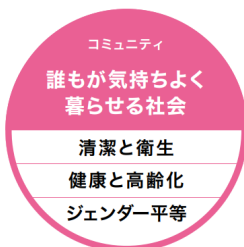
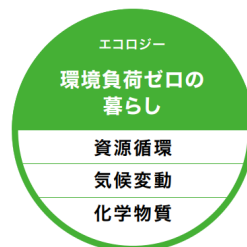
水： 製品使用時の水 30%削減(国内)
(売上高原単位、2005年基準)

化学物質：SAICMに沿って、積極的に
化学物質の管理に努めます

生物多様性：原材料の調達などの面で、
その保全に努めます



2013年
サステナビリティ
ステートメント



化学物質管理

花王はSAICMに沿って
積極的に化学物質管理
に努めます

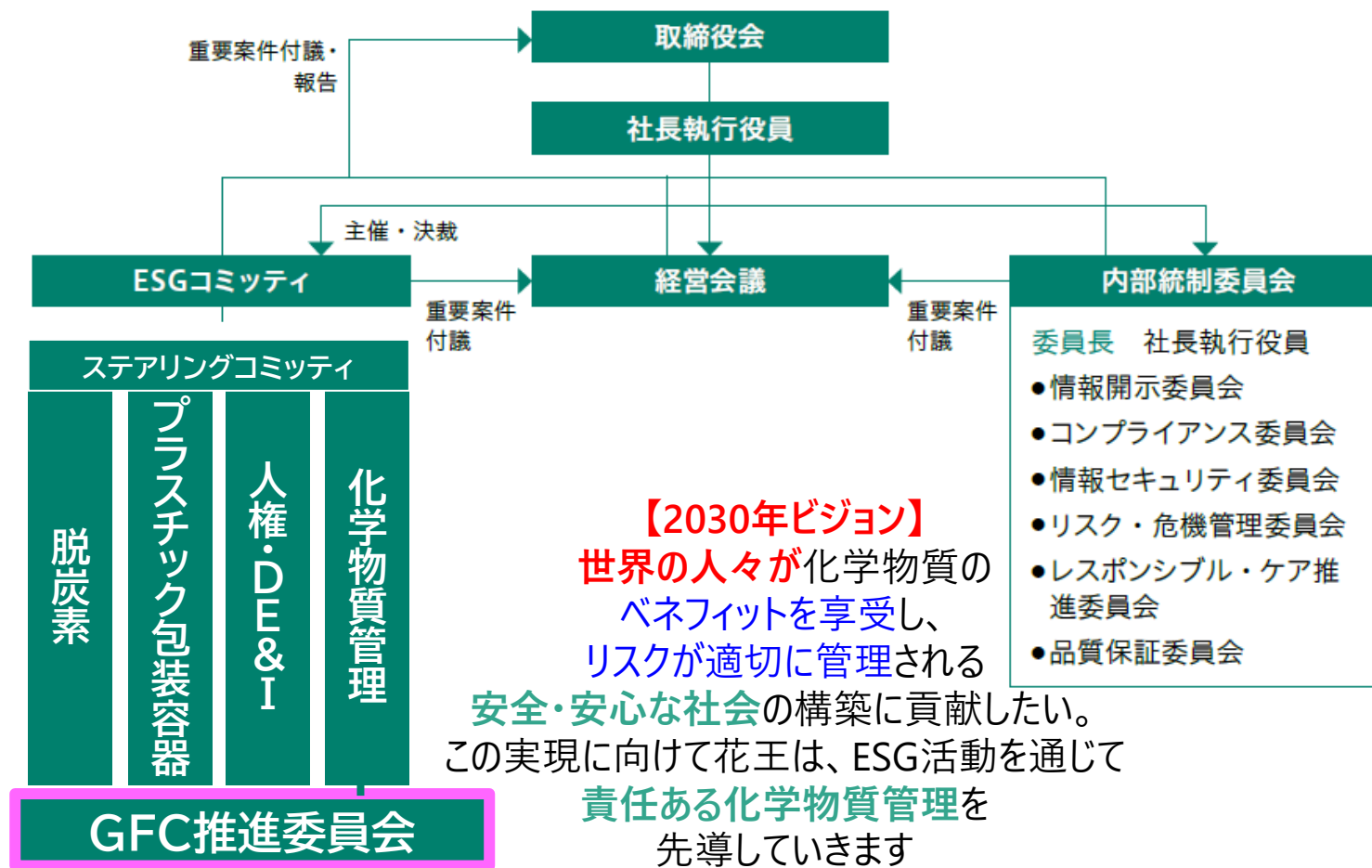
2019年

Kirei Lifestyle Plan
(花王のESG戦略)



世界の人々が化学物質のベネフィットを享受し、
リスクが適切に管理される
安全・安心な社会の構築に貢献したい。
この実現に向けて花王は、ESG活動を通じて
責任ある化学物質管理を
先導していきます。

責任ある化学物質管理 推進体制と方針



全社活動として「責任ある化学物質管理」を推進

GFCターゲットと花王の化学物質管理

GFCターゲット	ステージ	目的	取組例（花王）
B5,D1,D4,D5,E2,E6	調達	グローバル視点	➤ パーム農園のトレーサビリティ確保、RSPO認証
D1,D4,E6	開発	資源の効率的な利用	➤ 食糧と競合しない油脂で界面活性剤
A7,D1,D4		農薬使用量・飛散削減	➤ 展着剤(界面活性剤)で農薬効能向上
A3,B4,D1	評価	安全性評価の効率・精度向上	➤ 動物試験代替法の開発 ➤ 標準化・普及により規制受け入れ性向上
A3,B4,D1		生態系評価手法の精緻化	➤ 環境RNA：推計・化学物質管理効果検証 ➤ 環境モニタリング：実環境把握
A3,B4,D7,E2	製造対話	ローカル視点(地域保全・安全文化)	➤ 生物多様性モデル工場(植林・清掃活動) ➤ 地域社会との対話
D1,D4,E2		資源の再利用	➤ 容器包装リサイクル、詰替え促進 ➤ 廃PET利用剤による舗装強度向上
B5,E2	対話	意識・行動変容(理解と適切な使い方)	➤ 継続的なステークホルダー対話

ライフサイクル全体で、より安全でよりサステナブルな人・自然と化学の共生をめざす

課題：双方向理解のギャップ→傾聴・共感・連携へ

次世代

意識・行動の起点を啓発

- ・ 地域社会とコミュニケーション講座
- ・ 衛生学公衆衛生学実習
- ・ 衣料管理士実習
- ・ プラネタリーヘルス



アカデミア・行政

協働できる関係作り 第三者視点、規制合理化、自主管理とのバランス

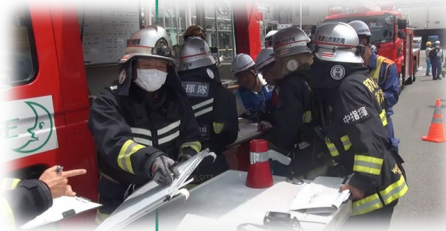
- ・ 政策対話
- ・ ルールメイキングへの参画
(GFC、国内実施計画ほか)



自治体・工場周辺住民

地域社会の安全・安心文化醸成 有事に協働できる関係作り

- ・ 自治体との定期対話
- ・ 共同訓練
- ・ 法令に基づく環境報告



生活者・顧客

化学製品・原料を適切にお使いいただくための 情報提供・対話

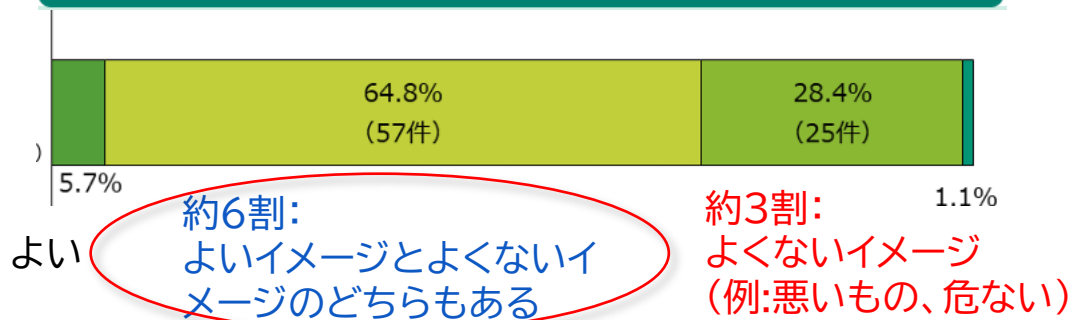
- ・ 生活者：お客様相談窓口など
- ・ 顧客：化学情報伝達・開示（SDSやラベル）
- ・ リスク評価結果の公開

ステークホルダーとの継続対話を通じて信頼関係を構築、意識・行動変容へ

【アンケート調査】

こども家庭庁・環境省 2025年:全国の小学生～20歳代
「環境問題と化学物質について考える」

あなたは「化学物質」と聞いてどんなイメージを持ちますか。



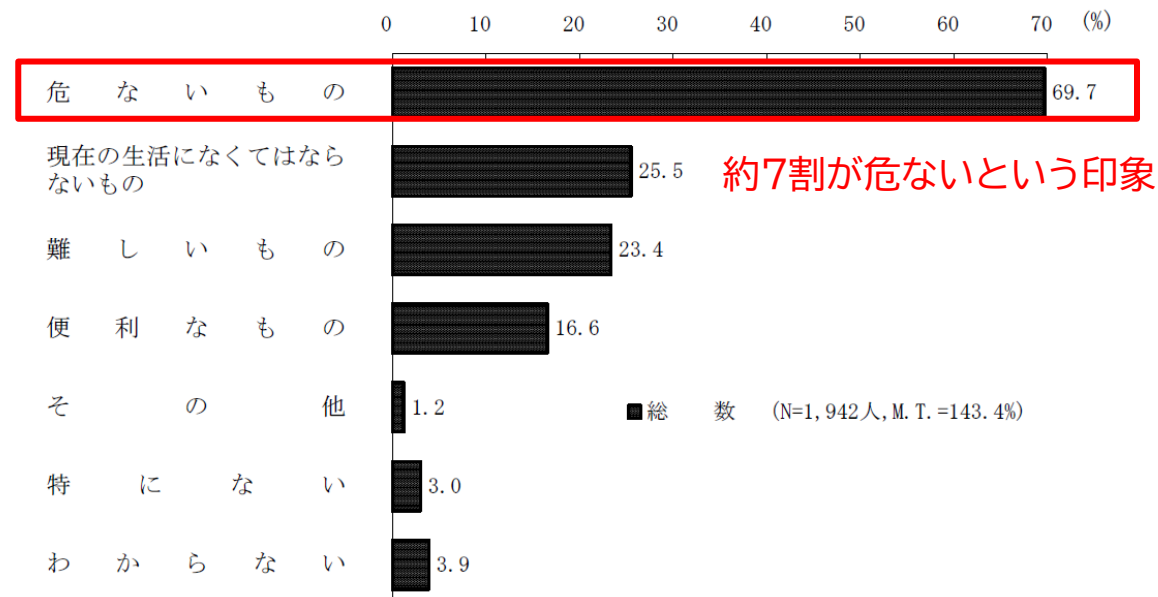
- 学校で公害の勉強をした時に、化学物質が原因だと聞いたから
- 製造元は国が定めた基準値に則って製造管理をしているはずなので信頼している
- 化学物質がなければ生活できない
- 便利で生活が豊かになる

<https://ikenplus.cfa.go.jp/square/4C1WWB8K6?year=2024>

内閣府 2010年:全国20歳以上(1,942人)
「身近にある化学物質に関する世論調査」

「化学物質」という言葉の印象

(複数回答)



15年後

- 種類が非常に多くその中には有害なものがあるかもしれないから
- 事業者がきちんと化学物質の管理を行っているか、わからないから
- 説明を聞く機会がないなど、化学物質についてよくわからないから

化学物質について、どう管理しているか継続した対話が大切



工場の安全を支える化学物質管理



1. GFC（化学物質に関するグローバル枠組み）は地球三重危機への対応の一つ
2. 社会環境課題解決のための化学物質管理へ大きな期待(GFC)
3. マルチステークホルダーによる取組で社会のサステナビリティ向上
4. 持続可能な社会の実現に向けて：開発、評価、管理、開示・対話
5. 対話・開示による信頼醸成、意識・行動変容、そして安全で安心な社会へ

本日：花王株式会社のGFC推進体制や、
工場の安全を支える化学物質管理を伝える1例を紹介

化学物質管理の双方向対話が信頼醸成・社会環境課題解決につながる

Kao

きれいを ところに 未来に